

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	それいゆ田井島	事業所番号	4310101961
住 所	熊本市南区田井島2-2-116	管理者名	早咲京子
電話番号	096-378-6033	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容> (活動場所) 大東商事株式会社 新港リサイクルセンター (実施日程) 令和7年7月～令和8年3月 (実施した生産活動・施設外就労の概要) リサイクルされたプラスチックの中で、貼られた薄いフィルムを剥ぐことで、新たな付加価値がうまれる物を手作業により分別処理 (利用者数 等) 延べ483名	<活動の様子>  
<目的> (地域連携活動のねらい) S D G'sを主流とする社会になり各々が生活の中で理解していることを実感する機会となる事務所や現場の方々との挨拶や交流により共生社会の理解となる (地域にとってのメリット) リサイクルセンターの中でどのようなものがどのように処理されていくのかを知る機会となる。地域の中で重要な仕事であることの理解に繋がる。 (対象者にとってのメリット) 生活する中でこのように多くのものが、リサイクルの対象となっていることを知る貴重な場で、今後の利用者個々の生活に対する姿勢を考える場となる。	<成果> (課題点) 今年度からのご縁で仕事に携わることになったが外での作業であり、一年を通じての体調管理に努めていけるようになること。また、異なる作業の依頼にも順応できるように現在の指示をきちんと理解し作業に努めていこうと考えている
<成果> (実施した結果) 行き帰りの挨拶などで交流があり、頑張っているとの評価をいただき、利用者各々の励みになっており生活を支えている現場の一助となっている自負が見られる。 (得られた成果) フィルムを剥す者ときちんと隅々までフィルムが剥がれているかをチェックする者に特性を鑑みて分かれて作業をしている。自分の得意な面をそれぞれが認識して協力して作業することや、個々で処理数に目標をたて作業に取り組むことができています。	

連携先の企業等の意見または評価

(連携した結果に対する意見または評価) 繰り返しのリズムの作業であり発注当初は不安な部分もあったが、生産効率は非常に高いと思います。 (今後の連携強化に向けた課題) 設備や環境面を整えて快適な環境作りが課題と捉えています。			
連携先企業名	大東商事株式会社	担当者名	荒木 隆広